

新宮山彦ぐるーぷ第2093回

不動峠登山道の調査と前鬼・導水管再調査

◇実施日：2020年8月22日（土）晴

◇参加者：沖崎吉信、山川治雄、梶野照雄

3名

下北山村の不動峠地蔵堂の修復に係る資材荷揚げに協力することになったので、登山道の状況を調べに行った。山川さんに「不動峠に行く」と連絡したところ、案内してくれることになり、沖崎さんも参加、3名で行くことになった。



不動トンネル北の登山口

植林の中を登る

不動峠に到着

午前9時に村役場に集合、沖崎車に3人が乗り、不動トンネル北側

の登山口に向かった。

登山口は不動トンネルに向かう三差路から100m程南側で2台ほどの駐車スペースがある。登山口の標高はおよそ230m、不動峠が606mなので380m位の登りである。登山道は「筏師の道」と言うだけあって道幅もあり、街道と言ってもいいくらいの道である。植林の中をジグザグに登り続けて一時間ちよつとで不動峠に着いた。距離は1.7km位なので、気温が低い時期には1時間弱で到着すると思う。



本日の参加者

枯れ木を切除

モノレールに到着

不動峠で休憩、枯れた木を2本切って浦向方向へ下る。ちよつと30分でモノレールが現れる。途中、崩れたトラバースが2ヶ所あり、滑りやすいので荷物を持つての通過には慎重さが要だ。

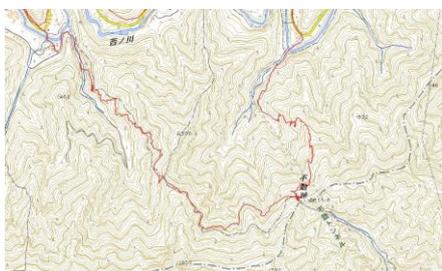
モノレールから10分程下って昼食を摂る。昼食後単調な下りが続き、対岸に林道が見えだすと谷を渡る鉄橋が現れる。橋を渡ると階段があり、すぐ上が林道不動峠線の起点になっている。



林道に出る



不動峠口バス停



本日本歩いたルート

ここから不動橋を越えて役場まではおよそ1.6km。道路なので20分で役場に到着した。

浦向側の登山口の標高はおよそ340m、不動峠までの距離は約2.7kmある。

不動トンネル側の登山道はジグザグにほぼ直登しているのに対し、浦向側の登山道は山腹を捲いて徐々に高度を上げている。

どちらの登山道も風が通る場所が少ないので、気温が高い時期は苦しい登りになると思われる。

役場で沖崎、山川両氏と別れて前鬼に向かう。先週修理した導水ホースを再調査する。水源の流量確認と、水漏れがあるホースの修理方法の検討が目的だ。

不動七重の滝付近から遠くに雷鳴が聞こえだし、空も雲が増えてきた。小仲坊に到着、五鬼助さんは西側の竹藪を掃除しておられた。ホースの先端で流量を確認。少ないし途切れ途切れになっている。



ホース先端の水流



水源の貯水槽



水源の取水口

傘と鎌を持って水源の水量確認に向かう。



繋ぎ目のバルブ発見



漏水箇所



不動七重の滝

水源の沢の流量は少なく、貯水槽のドラム缶には導水ホースの位置までかろうじて水が溜まっている。途切れ途切れになるのは、この

位置で空気が入り込んでいるためかと思う。

続いてホースをたどり、先日見つけた漏水箇所までを調査する。切り開いた灌木の間を伝ってホースを追っていくと、継ぎ目と思われるバルブを発見、このバルブから漏水箇所までは10mほどだ。バルブでホースを外し、下流側へ引き抜くことが出来そうだ。

調査を終えて小仲坊に戻った。五鬼助さんに漏水箇所の映像を観て頂き、バルブも見つけたので何とか修理できそうだとお話しする。

着替えようとしていると車が一台上がってきた。こまどりケーブルテレビの人で、先日取材して製作した映像を持ってきていた。

五鬼助さんと一緒に映像を見せて頂いた。後日、YouTube にアップするそう。

(記：梶野)

行動タイム

不動トンネル北登山口 09:20→10:29 不動峠 11:11→11:39 モノ
レール→12:10 昼食 12:35→12:42 林道不動峠線→13:04 村役場
14:00 小仲坊→14:40 水源→15:13 バルブ発見→15:30 小仲坊